



2025年11月 5 日

各 位

会 社 名 北 越 メ タ ル 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 加納 愛仁
(コード番号 5446 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員総務部長 遠山 功
(T E L . 0258-24-5111)

2026年 3 月期第 2 四半期（中間期）業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年 8 月 1 日に公表いたしました2026年 3 月期第 2 四半期（中間期）（2025年 4 月 1 日～2025年 9 月30日）の業績予想と本日開示の実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異について

2026年 3 月期第 2 四半期（中間期）（2025年 4 月 1 日～2025年 9 月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 12, 500	百万円 50	百万円 100	百万円 50	円 銭 12. 97
今回実績（B）	12, 397	0	59	13	3. 58
増減額（B－A）	△102	△49	△40	△36	
増減率（％）	△0. 8	△98. 9	△40. 1	△72. 4	
（ご参考）前中間期実績 （2025年 3 月期中間期）	15, 578	276	350	199	51. 78

2. 差異の理由

当第 2 四半期（中間期）連結累計期間につきましては、資材価格の高騰や人手不足による建設工事の遅れから鋼材需要が減少したことで、販売数量、販売単価ともに想定を下回り、売上高が減少しました。利益面では、原価低減に努めたものの、販売数量の減少に伴う減産体制により固定費の回収が進まず、前回予想を下回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、売上高が前回予想数値を確保できる見込みであるため、前回予想から変更しておりません。しかしながら、今後の鋼材需要や主原料である鉄スクラップ価格の動向など不透明な要素も多いことから、今後、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

以 上